

【ユニット】 導入クリニカル・クラークシップ1-2

【ユニットディレクター】

UD：柴崎 智美（医学教育学）

UD 補佐：森 茂久（医学教育学） 杉山 智江（医学教育センター） 石橋 敬一郎（医学教育学）
佐藤 寛栄（医学教育センター） 杉浦 由佳（医学教育センター） 大西 京子（医学教育センター）
小池 啓子（医学教育センター） 川村 勇樹（教養教育） 荒木 隆一郎（医学教育センター）
井上 直子（医学教育センター） 山田 泰子（医学教育センター） 作山 洋貴（医学教育センター）
金田 光平（医学教育センター）

【一般的な目標】

医学を学び、その成果をすぐれた医療人（臨床医）として実践できるようになるために、医学を学習することへの関心を高めるとともに、医学生として備えておくべき基本的な臨床技能及び態度を修得する。

【具体的な目標】

将来、保健医療福祉介護の現場で協働する専門職のうち、看護師、薬剤師、リハビリテーション技師の視点・役割について、体験を通して学び、チーム医療についての理解を深める。

1. 良好な医師、医療人、患者関係を形成することが、医療行為を円滑に行うために重要であることを理解する。
2. 良好な医師、医療人、患者関係を形成することが、患者の QOL 向上のために必要であることを理解する。
3. チーム医療を実践する際に連携すべき専門職を列举できる。
4. 医師、医療人、各々の専門職の視点・役割の違いについて説明できる。
5. 医師、医療人、各々の専門職が互いに協力して医療を行うこと（チーム医療）の重要性を理解する。
6. 薬剤師の具体的な業務内容を列举できる。
7. 薬剤部、病棟、在宅等における薬剤師の仕事内容の流れを説明できる。
8. リハビリテーション技師の具体的な業務内容を列举できる。
9. 外来、病棟におけるリハビリテーション技師の仕事内容の流れを説明できる。
10. 看護師の具体的な業務内容を列举できる。
11. 日勤時における看護業務の流れを説明できる。
12. 看護師の指導の下で、適切な方法でバイタルサインを測定できる。
13. 看護師の指導の下で、看護業務の一部を介助することができる。
14. 医療人（薬剤師、リハビリテーション技師、看護師）や他の職員に対し尊敬の念を持って接することができる。
15. 医師、看護師、薬剤師等の保健医療福祉専門職の専門性や立場を理解し、医師に求められる行動について説明できる。
16. 臨床現場での実習に相応しい態度・行動は何かを考え、自らの目標達成のために積極的に行動することができる。
17. 実習に休まず出席できるように、自らの体調管理、感染予防に努めることができる。
18. 体験を通して自分自身を振り返り、ヒューマンケアに携わるものとしての姿勢を考えることができる。

【学習方法】

本ユニットは、看護技術演習、看護業務体験実習、他職種業務見学実習から構成されており、全体としてチーム医療実習とする。看護技術演習前、並びに他職種業務見学実習前には、オリエンテーションを実施する。

1. 看護技術演習（担当：杉山、石橋、柴崎）
 - 1) バイタルサインの測定を行い技能の向上を目指す。
 - 2) 車椅子やストレッチャーによる移送を、自ら体験して学ぶ。
 - 3) 感染予防の一環として手洗いを自ら体験して学ぶ。
 - 4) ベッドメイキング、体位変換、寝衣交換、清拭、おむつ交換などに関する基礎的な技能を自ら体験して学ぶ。
*1)～4)は指導看護師の下でグループに分かれ、交替で行う。
2. 看護業務体験実習（担当：杉山、石橋、柴崎）
 - 1) 1～3人が1組となって大学病院、総合医療センター、国際医療センターのうちいずれかの病棟に配属される。
 - 2) 指導看護師の下で3日間の実習を行う。
 - 3) パーチャル看護業務体験実習では、病棟だけでは学ぶ事が難しい看護師の業務について動画教材を用いて模擬的に体験する。
 - 4) 実習で体験したことを振り返る。
3. 他職種業務見学実習（担当：柴崎、佐藤、杉浦）
 - 1) 大学病院、総合医療センター、国際医療センターのいずれかの病院で、薬剤業務見学実習、リハビリテーション業務見学実習を行う。
 - 2) 薬剤業務見学実習は薬剤師の指導の下で1日、薬剤部における各種業務を見学する。
 - 3) リハビリテーション業務見学実習はリハビリテーション技師の指導の下で半日程度、主な業務を見学する。
 - 4) パーチャル他職種業務見学実習では、病棟だけでは学ぶ事が難しいリハビリテーション部、薬剤部の業務について動画教材を用いて模擬的に体験する。
 - 5) 実習で体験したことを振り返る。
4. 学修成果報告：実習のまとめ、発表会（担当：UD、UD 補佐）
 - 1) 6～7人で1班となって実習で学んだことに基づき課題を解決し、その成果を報告する。
 - 2) 他職種業務見学実習において個人で学んだことを班員で共有し、発表することにより全員で振り返ることで理解を深める。
 - 3) 看護業務体験実習において個人で学んだことを班員で共有し、発表することにより全員で振り返ることで理解を深める。
 - 4) チーム医療実習のまとめとして看護業務体験実習と他職種業務見学実習を総合的に振り返り、テーマに沿って体験をまとめる。
 - 5) まとめの発表会では、既習のプレゼンテーション技法を用いて発表する。
 - 6) まとめの発表会では、他の班や専門職者の意見を聞き、班員として意見を述べる。

【予習】オリエンテーションから実習までの間に、事前学習を課す。実習目標の設定、オンデマンド動画の視聴などの課題について、オリエンテーションで説明されるので、必ず出席し、課題に取り組むこと。

【実習に関連する質問】質問等は、実習時間内に受け付けるが、教員にきかなくてもわかることは、学生同士で確認すること。WebClass メッセージでの質問も受け付ける。

【評価方法】

本ユニットは良医になることを目指して、講義や実習に参加し、課題に取り組むことを求めている。そのため、医師を目指す医学生としてふさわしくない態度、行動があった場合には、評価の対象とせず不合格とする。また、本ユニットは、臨床実習の導入として位置づけられているため、原則すべての実習に参加することを評価の要件とする。

1. 【本ユニットは実習扱いであり、90%以上の出席が必要である。】
出席 90%以上の者を評価対象とし、出席 90%に達しないものは評価対象としない。欠席する場合には事前連絡と欠席届の提出が必須である。実習に休まず出席できるように、自らの体調管理、感染予防に努める。やむを得ない理由で実習を欠席した場合には、90%以上出席していた場合においても、それぞれの実習の参加が不十分と考えられる場合には、学年末（2月-3月）に補講を実施する。
なお、集合して実施するオリエンテーション等は時間を厳守することを求める。遅刻した場合には、評価に反映する。
実習オリエンテーションを欠席した場合には、実習前日までにオリエンテーションの動画を視聴する、実習要項を熟読するなど、教員からの指示に必ず対応すること。対応しない場合には、実習への参加は認めない。
2. 本ユニットでは全ての課題（提出物）の提出を求める。具体的には、学務課や実習担当者に提出するレポート、実習成果物等だけでなく、WebClassに登録する日々の振り返り（ログブック）、ルーブリック評価、レポート、ポストアンケート、健康チェック観察シートを含むすべての課題である。それぞれの課題毎に決められた提出期限内に未提出の場合には、催促は行わず未提出として扱い、評価点から減点する。指定された方法、内容と異なるものやレポート剽窃等アンプロフェSSIONナルな行動があった場合には出席・提出物を0点とする。
3. 評価は、出席、実習態度、提出物、医療面接評価、レポート、他職種からの360度評価等を勘案して100点満点で評価する
4. 11月以降の実習はインフルエンザワクチンを接種していることが、実習参加の条件である。

【教科書】

- ◆ 身体診察と基本手技 基礎臨床技能シリーズ5, 倉本 秋, メジカルビュー社
- ◆ 診療録の記載の仕方とプレゼンテーションのコツ 新基礎臨床技能シリーズ2, 酒巻哲夫, 阿部好文, メジカルビュー社

【参考書】

- ◆ 臨床推論 EBMと病態生理から症例を考える 基礎臨床技能シリーズ4, 後藤英司, メジカルビュー社
- ◆ 保健・医療・福祉のための専門職連携教育プログラム ミネルヴァ書房

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
Pre-CC 1-2 01	10月27日	(月)	4~6	チーム医療実習オリエンテーション1	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 1-2 02	11月04日	(火)	1~6	他職種業務見学実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 1-2 03	11月05日	(水)	1~6	他職種業務見学実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 1-2 04	11月06日	(木)	1~3	他職種業務見学実習まとめ	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 1-2 05	11月12日	(水)	1~3	チーム医療実習オリエンテーション2	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 1-2 06	11月19日	(水)	4~6	看護技術演習	UD, UD補佐, その他

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
Pre-CC 1 -2 07	11月20日	(木)	4～6	看護技術演習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 1 -2 08	11月25日	(火)	1～6	看護業務体験実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 1 -2 09	11月26日	(水)	1～6	看護業務体験実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 1 -2 10	11月27日	(木)	1～6	看護業務体験実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 1 -2 11	11月28日	(金)	1～6	看護業務体験実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 1 -2 12	12月01日	(月)	1～3	看護業務まとめ	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 1 -2 13	12月01日	(月)	4～6	チーム医療実習発表準備	UD, UD補佐, その他
Pre-CC 1 -2 14	12月02日	(火)	4～6	チーム医療実習・発表会	UD, UD補佐, その他

【備 考】

それぞれの実習の事前学習・課題は、年度初め及び実習前に実施するオリエンテーションで詳細を説明する。

また、看護師、薬剤師等の指導者や教員からフィードバックが行われる。

キーワード：看護業務（ベッドメイキング，体位交換，移乗・移送，血圧測定，手洗い，清拭，おむつ交換），薬剤業務（調剤，疑義照会，病棟薬剤師，在宅訪問薬剤師），リハビリテーション業務（理学療法士，作業療法士，言語聴覚士、ICF 分類），専門職連携

「UD, UD 補佐, その他」と記載してある時間は、以下の者が担当している。柴崎（医学教育学），森（医学教育学），山田（医学教育C），石橋（医学教育学），荒木（医学教育C），杉山（医学教育C），金田（医学教育C），大西（医学教育C），川村（教養教育），佐藤（寛）（医学教育C），小池（医学教育C），杉浦（医学教育C），井上（医学教育C），その他